

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	Sun Kids		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・児童発達指導員・理学療法士・看護師等の多職種連携を行いながら支援ができています。	成長発達に対しての療育内容や、体調面・運動機能面など、多職種連携による、多面的な支援を行っている。	定期的に、多職種連携での話し合いを行う。 他の連携期間との情報共有を行っていく。
2	1年を通して季節のイベントや製作・クッキング・運動会・音楽体操やダンスなど幅広く活動を行っている。	活動内容が固定化しないように保育士が中心となって理学療法士や看護師と活動内容を検討している。	自宅では行えないような活動を通して、成長発達を促せられるように関わる。
3	施設外での行事の参加を行っている。 地域のイベントに参加し、地域の方と交流している。	子ども達が生活する地域で安心して暮らせるように、その地域での活動やイベントに参加したり交流を深めている。	地域に開かれた事業所として、イベントの開催や子育てサロン、活動展示会の取組を検討する。 地域サービス（公民館や図書館など）と一緒に利用する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して相談支援は行っているが、教育指導は行えていない。	個別での必要な相談や教育等のみであり、集団での指導を行えていない。	家族の対応向上を図るため、ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムを検討する。 家族交流会等にてこどもの関わり方や遊びを通しての発達支援の方法を説明する。
2	医療度が高く容易に施設外での活動が行えない。	医療度の高い子どもが多く、事業所外での活動や地域イベントへの活動参加に安全の配慮が必要。 外出時（医療度の高い子ども）1対1以上のケアが必要な為、職員が不足している。	地域活動の際は、地域の方のボランティアなどの支援を依頼する。
3	災害時等の支援が必要。	医療度の高い子どもが多く、避難時に介助が必要。 医療機器が多い。	近隣地域に事業所の事を知ってもらおう。事業所説明のチラシを作成する。 協力を依頼して合同の避難訓練を行っていく。地域の災害訓練に参加する。 医療機器が使用できる発電機を準備する。